

令和4年第1回中津川市教育委員会（定例会）議事録

日 時 令和4年1月26日（水） 午後1時30分～

場 所 にぎわいプラザ 4-1会議室

出席委員 教育長 岩久 義和
委 員 三尾 和樹 田島 雅子 小栗 仁志 橋本 あみる

事務職員 三宅事務局長・氷室教育次長（兼）学校教育課長・伊藤事務局次長
（兼）教育企画課長・河合事務局調整監（兼）幼児教育課長・丹羽
文化スポーツ部長・松井文化スポーツ部次長・梶屋教育研修所長・
伊藤施設計画推進室長（兼）工業振興課統括主幹・西尾発達支援セ
ンターつくしんぼ所長（兼）発達支援センターどんぐり所長・太田
阿木高等学校事務長・池戸生涯学習スポーツ課長（兼）少年センタ
ー所長・原文化振興課長（兼）市史編さん室長・小池図書館長・青
木中央公民館長・宮嶋鉦物博物館長（兼）東山魁夷心の旅路館長

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 教育長報告
4 議 事
5 閉 会

日程	議 事	件 名	結 果
第1	報第1号	専決処分の承認を求めることについて	承 認
第2	議第1号	令和4年度中津川市教育委員会主要事業について	承 認

■教育長 4名の委員の出席を確認しました。ただいまから令和4年第1回中津川市教育委員会を開催いたします。

日程第2、前回議事録の承認につきましては回議といたします。

続きまして、日程第3、教育長報告を行います。前回以降に出席した主な行事を中心に報告します。

12月17日は市議会予算決算委員会とつくしんぼのクリスマス会に出席しました。20日は第75回市コロナ対策会議に出席しました。お手元の概要にお示しているように、前回の定例会以降、県、市ともにコロナ対策関係の会議が頻繁に開催され、市の会議だけでもこの1カ月間に10回行われています。22日はあけぼの教室を訪問させていただきました。23日は市議会本会議に出席しました。24日は総合教育会議を福岡中学校で開催させていただきました。委員の皆さんには貴重なご意見を頂戴しました。ありがとうございました。27日は中津川市から管理職任用第二次選考に挑戦する11名の職員を集めて、事前研修会を行いました。

年が改まり、9日は市の成人式に出席しました。短時間かつシンプルな内容でしたが、新成人たちの表情や式に臨む姿勢がとても良く、爽やかな門出の式となりました。成人式に臨んだ皆さんは、開催していただいたことに対して、感謝の気持ちをもって参加していたと思います。文化スポーツ部の皆さん、お疲れさまでした。アトラクションで披露していただいた中津川太鼓もとても良かったです。

11日は例年より遅い3学期の始業式でした。事故や事件などの報告が全くない冬休みでした。しかし始業式以降は、「高校生の兄が感染した」「家族が濃厚接触者になった」等の報告が多発し、情報共有用のホワイトボードがあつという間に埋まっていきました。教育委員会でも、学校教育課で勤務する教員の半数が出勤を控えなければならない状況が発生しました。行事等もほとんどが中止または延期になりました。今までにない数の児童生徒並びに職員の感染が発生しています。配布しております概要には、東小学校、苗木小学校での学級閉鎖、阿木高校での学校閉鎖、加えて昨日第一中学校でも学級閉鎖が発生しております。そういったもののみを記載しております。児童生徒、職員の感染状況の詳細については、後ほど担当からご報告いたします。

続いて今後の主な行事です。

27日は東濃地区教育長会と教育評価委員会に、翌28日は校長研修会に出席する予定です。2月に入りまして、3日は岐阜県都市・町村教育長連合会合同研修会、16日は博物館等協議会に出席する予定です。

私からは以上です。

次に、事務局及び文化スポーツ部からそれぞれ報告をします。

三宅事務局長。

■事務局長 前回以降の主な出席行事等について報告します。

遅くなりましたが、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。先ほどの教育長のお話と重なる部分が多いですが、1月15日付けで人事異動がありましたのでご報告させていただきます。教育委員会事務局では、長瀬前施設計画推進室長を始め、3名が転出しました。そして、今日出席している伊藤施設計画推進室長の1名が転入で、実質2名の減になりました。

新型コロナウイルス関連につきましては、新年を迎えて以降、オミクロン株が大きく影響し、第6波がピークを迎えつつあり、感染拡大が相次いでいます。具体的には、高校関連を始めとして、ご家族等の感染が確認され、多くの園児・児童・生徒がPCR検査を実施し、教育委員会関係では20名の方の陽性が確認されました。この間に、東小学校、阿木高校、苗木小学校で集団PCR検査が実施され、阿木高校では学校閉鎖を、東小学校、苗木小学校、第一中学校では学級閉鎖の措置をとりました。

コロナ会議は12月16日、20日、24日、1月5日、6日、11日、13日、15日、17日、20日に岐阜県・中津川市新型コロナウイルス対策本部会議、市町村WEB会議・コロナ教育推進協議会が開催されました。

また、1月12日に公立幼保園長会、及び13日の幼児教育・保育施設運営協議会において、緊急の対策として不要不急の行事等の自粛を要請し、各小中学校等にも校長会等を通じて同様の要請を行いました。

市議会につきましては、12月17日に予算決算委員会が開催され、補正予算についてご審議いただき、23日に本会議最終日が開催され、他の議案等とともに議決いただきました。

その他の行事です。12月17日に苗木地区区長会、21日に蛭川地区区長会、22日に日東工業工場見学、24日に教育委員の皆様にご出席いただいた総合教育会議、28日に四役・部長会、仕事納め式、年が明けまして、1月4日に仕事始め式、四役・部長会、5日に消防出初式、県教育長へのあいさつ、17日に1月15日付け人事異動の辞令交付式に出席しました。

今後の予定です。

1月27日に定例記者会見、これは中止して懇談会に変わったという報告が入りました。教育評価委員会、28日に校長会、31日に阿木高校の生徒の市長報告が予定されています。

以上です。

■教育長 文化スポーツ部からお願いします。

丹羽文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 今年もよろしくお願ひします。

文化スポーツ部から主な行事について報告します。

現在、オミクロン株による新規感染が爆発的に増加しております。特に若い世代の感染が多く確認されています。感染拡大を防止するため、市独自の「第6波非常事態宣言」が1月20日に発出されています。「まん延防止等重点措置」の実施期間である1月21日から2月13日までの間、県と連携して対策を実施します。

文化スポーツの各施設では、市主催・共催のイベント、講座等の原則中止または延期、民間団体等が主催するイベント等については可能な限り中止または延期を要請しています。どうしても開催する場合は、オンライン開催、規模縮小、人数制限、感染防止対策の徹底、学校外のクラブ活動の自粛の要請と併せて、学校開放施設である各小中学校の体育館、グラウンドなどの利用停止、すべての施設の利用時間を20時まで短縮とし、引き続き基本的な感染防止対策の徹底をお願いしております。

主な行事ですが、12月16日、第3回公民館長会議が開催されました。12月17日、B&G2021年度修繕助成決定書の授与式が行われました。18・19日、常盤座演劇フェスティバルが常盤座で開催されました。入場者数は208人でした。18日、鉾物博物館でコラボ企画が行われています。20日、第3回苗木城跡を核とした観光地化推進協議会が開催されました。20日、第49回バトントワーリング全国大会に出場した中津商業高校から市長に金賞受賞の報告がありました。21日、NPB12球団ジュニアトーナメントKONAMICUP2021に出場する加子母小学校の二村虎次郎君の激励会を開催しました。

あとは、市議会、仕事納め、仕事始めがあります。1月9日、成人式が東美濃ふれあいセンターアリーナで開催されました。新成人参加者は875人中約7割の651人でした。

激励会、色々なイベントを中止しています。はがきコンクール表彰式は、中止となりました。

1月17日には1月15日付け人事異動の辞令交付式が行われました。文化振興課西尾課長補佐、生涯学習スポーツ課高木主任主査の2名がコロナ対策関連で福祉部へ異動しました。文化振興課には、教育企画課から長瀬係長が配属されました。

1月21日、県視聴覚作品コンクールに出展した中津川視聴覚クラブから、市長に県知事賞受賞の報告がありました。25日、第4回公民館長会議が開催されました。

新型コロナウイルス感染症対策本部会議は資料のように10回の会議がありまし

た。

今後の予定ですが、1月30日、文化財防火デー訓練を加子母大杉でやる予定でしたが中止しました。1月30日、第70回中津川市民音楽祭は延期します。2月12日、第1回中津川市域学連携のアスリートミーティングがオンラインで、中京学院、また生涯学習課長が発表を行う予定です。16日、第2回博物館等協議会が開催されます。16日、第2回県スポーツ推進審議会及び県スポーツ推進県民会議が開催されます。これは私が委員になっています。28日、市議会（本会議）が開催されます。

以上です。

■教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 三宅事務局長に質問で、日東工業工場見学というのは何でしょうか。

■教育長 三宅事務局長。

■事務局長 市内にたくさんある事業所の中で、私たちが実際に工場の中に入って見学させていただくという機会がなかなかないので、工業振興課が主体となりまして、お声をかけていただいて見させていただきました。

■教育長 他はよろしかったですか。ご質問等がないようですので、日程第4、議事に入ります。

議事日程第1 報第1号「専決処分の承認を求めることについて」提案説明をお願いします。

氷室教育次長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 それでは、報告のありました専第14号についてご質問等がありましたら承ります。

田島委員。

■田島委員 この件に異議はありません。こうして規制が改正され、校舎の建設が始まって令和5年度の開校に向けて進んでいる様子を見せていただきますと大変わくわくいたします。統合するそれぞれの学校の思いは違うところもあるかもしれませんが、何年か時が経てば、補い合って「ずっと前からこんな形だったのね」という形に収まっていくと思います。関係者の方々、本当に苦労があり、そして努力をしてくださってありがとうございます。でき上がったところを良い手本として、そして良いチャンスとして、また若い伊藤推進室長もお迎えしたので、適正化の速度

を緩めることなく加速していただきたいと思います。以上です。

■教育長 エールとプレッシャーをいただきましてありがとうございます。

ほか、ご質問等ございませんか。

ご質問がないようですので、専第1号の説明をお願いします。

伊藤事務局次長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問ご意見がありましたらお願いします。

ご意見、ご質問等がございませんので、ご異議がなければ、報第1号については、承認ということによろしいでしょうか。

[異議なし]

■教育長 ありがとうございます。報第1号「専決処分の承認を求めることについて」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第1号「令和4年度中津川市教育委員会主要事業について」提案説明をお願いします。

伊藤事務局次長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 説明がたくさんになりますので、一旦ここで切らせていただきます。お手元の資料の方へ戻っていただき、9ページからの教育企画課の主要事業についてご意見やご質問等頂戴します。

小栗委員。

■小栗委員 9ページの1(7)「学校給食運営事業継続」ですが、これは以前、給食調理場の統合という話が出ていたと思いますが、令和4年度は特に統合ということではなく、今の施設でやっていくということでいいのでしょうか。

■教育長 伊藤事務局次長。

■事務局次長 統合という話の中では、一つは福岡小学校の給食の関係で、3つの小学校の給食施設を統合していくということと、もう一つは、山口小学校を統合していくところですが、いずれも令和4年度中は引き続き継続をして、令和5年当初

に統合してやっていきたいということで、19カ所のままになっております。

■教育長 田島委員。

■田島委員 育英事業について、ここ数年、選奨生の選考委員を務めさせていただいています。令和3年度は再募集をするぐらいエントリーが少なかったという事実を、委員会で話し合ったり、事務局に分析をしていただいたりして、国の支援が手厚くなったとか、コロナ禍で先行きが不安になったとか、色々な意見が出てきました。その中で、しっかりと貸与型の資金はあるということで、やはり市としてはこれからも貸与型で進めていこうということなので、より多くの学生が快適に生活できるように、また社会に出てから無理なく返していけるようにという配慮のもとに、どうしたらたくさんのエントリーを得られるかとか、そういう形のこともこの項目の中に入れていただきたいと思いますと思うのですが、いかがでしょうか。

■教育長 伊藤事務局次長。

■事務局次長 協議して反映させていきたいと思えます。

■教育長 ほかはいかがですか。

よろしければ、10ページの施設計画推進室関係についてご質問やご意見を頂戴したいと思います。

小栗委員。

■小栗委員 10ページの施設計画推進室の学校規模適正化事業ですが、新ふくおか小学校については着々と進んでいるところかと思えます。もう一つ、坂本地区の学校教育施設の整備についての検討というのが入っていますが、具体的にどのようなことですか。

■教育長 三宅事務局長。

■事務局長 坂本地区の学校施設につきましては、地形も急傾斜に近いところにあるとか、小中学校が並んでおり、旧幼稚園の管理活用等がありますので、そういったところの全体的な検討を地元の方と一緒にさせていただき、特に小学校で配置等不具合が多いということで、どうしていくか検討していくことを考えています。そしてその中で、給食調理場が小学校、中学校別々になっており、何とか新しく共同化させていただいた上でできないかと考えています。それは大型事業にも載っていますので、先行させて進めていきたいということで、地元と協議させていただきたいと考えております。そしてできれば令和6、7年度には共同調理場が完成できないかと考えているところです。以上です。

■教育長 小栗委員。

■小栗委員 かねてから私もお話ししている坂本地区については、小学校、中学校、特に小学校が継ぎ足しのような形で手狭になっているところもあります。中長期的

に見るとリニアの開業というのもあります。そのようなところも含めて色々なことを視野に入れての検討をしていただきたいということを要望させていただきます。

■教育長 三宅事務局長。

■事務局長 ありがとうございます。リニアの駅前の学校になるということは重々承知していますので、今ご意見いただいたようなことを念頭に検討していきたいと思っております。

■教育長 施設計画についてほかにご意見ご質問はありませんか。

では、続いて学校教育課関係でお願いします。

三尾委員。

■三尾委員 主要事業の概要ということで、中津川市の手厚い、そして特色ある教育が全体的に良く表されているという風に思いました。例えば学校教育課のところはよく網羅されていると思いました。

例えば基本施策2『教育内容・生涯学習内容の充実』の2「生きぬく力を育む学校教育」(1)から(9)までありますが、ハードの面とソフトの面の分類みたいなもので、例えば(1)(2)(9)などは、そのような環境を整えるのだけでも、その環境の中でどういう教育を狙うのかというところは、教育内容に関わる部分だと思って聞いていました。例えば、指導助手、介助員、特別支援アシスタント等を積極的に配置することで、どういう教育を実現するのか、そのところが教育内容ではないかと思えます。分類のことで、感想というか違和感のようなものをなんとなく感じました。以上です。

■教育長 教育次長。

■教育次長 ありがとうございます。施策ということで人の配置を示しているのですが、三尾委員がおっしゃったように、何のためにというか、目的、目標が大事です。例えば特別支援教育では、先ほど幼児教育課でも特別支援について力を入れたということもあるのですが、今54学級220名の児童生徒が特別支援学級にいて、通級には99名いて、本当に手厚くやっています。特別支援の目標は、教育的ニーズに応じて、持てる力を伸ばして支援とか指導はするのですが、自立を考えていけないといけないので、自立を目指した配置として、支援をするけれども自立を目指すというような目的に応じて人を配置し、何のためにということをきちんと考えていけないといけないと今改めて教えていただいたと思えます。

■教育長 ほかに学校教育課関係でいかがですか。

田島委員。

■田島委員 中津川市は市費で賄える指導助手、介助員、特別支援アシスタント等、他の市町と比べると本当に手厚い配置ができており、これは中津川市がこうして子

どもたちのためにお金を割いてくださるという気持ちがとても伝わってきて、ありがたいことだと思います。1つの教室に1人の先生だけではなくて、そこにもう1人先生がいらっしやると、合う合わないもあるでしょうけども、自分を見てくれる、自分を認めてくれる人が一人でもたくさん出てくることが、子どもの心の安定に繋がっていくということで、心が安定して穏やかであれば、勉強の方にも意欲が出てくるのではないかと思います。たくさん人がいるから成績が上がっていくということはあまりないと聞いていますが、やはり心が安定して豊かな心でいられることが、勉強にもつながっていくのではないかと思います。本当にこのように手厚くしてくださることもやはり市の財政の中でのことなので、何が効果を得られたということが出せない教育の状態だと思いますが、そこは本当に頑張ってください、しっかりと説明と心を誘導して中津川市がこのまま続けていけるように尽力していただきたいと思います。よろしくをお願いします。

■教育長 ご意見ありがとうございます。コストをかけているので、その費用に担う効果があるかということの検証が充分できているかという点については、不足していると思います。教育は、数値化などにはなじまない部分もありますが、あえてそこをやっていないと説得力が生じないと思っています。お金をかけ、人を充て、その結果、子どもがしっかり育っているということが見える化できるように努めたいと思っています。ありがとうございます。

ほかにご意見ご質問等ありますか。

では、13ページの教育研修所関係です。

田島委員。

■田島委員 1『生きぬく力を育む学校教育』（1）のあたりで、「学力向上一点突破」など、本当にたくさんの項目が、学力向上、学力を高める授業づくりに力を尽くせるという項目があって、努力をしていらっしやるのですが、阿木高校に「義務教育段階の学習内容の学び直し」があります。これはマルチベーシックなどということがあるのですよね。小中学校でこれだけ一点突破ということで力を注いでいらっしやるにも関わらず、その阿木高校でもう一度義務教育の段階の学習内容をやらなければいけないということに対して、少し疑問に思います。学力を高める授業づくりの狙い、レベルというものがあるのでしょうか。

■教育長 梶屋教育研修所長。

■教育研修所長 まさに前回の教育委員会でも少し話題になったと思うのですが、義務教育段階における力が十分に付けきれていないのではないかとこの部分、確かにそのとおりだと感じています。学力を高める授業づくりということで、まさにその狙いとしては、子どもたちに学習における基礎基本の習得ということを目指して

進めています。特に、指導力の向上ということで、狙いとしては、中津川市の先生方に、子どもたちに教科の学力や生活力といった力をつけていただくためのことを目的として進めているところでもあります。しかし、それが今課題としてはあるとすれば、継続的に、小学校1年生から中3まで連続したものにまだまだなり得ていない部分はあるのではないかとすることは考えておりますので、そういったところの繋がりができるというところを大切に指導していただけるように、今後も指導を進めていかなければならないとは考えております。

狙いとしては生活や学習における基本の取得ということで進めております。

■教育長 田島委員。

■田島委員 確かに世の中には色々な方がおられて、東大へ行って博士になり日本を背負って立つ人もいらっしゃる、窓ガラスを拭いてビルをきれいにしてくれるという人たちもおられます。そういう、将来何になるか分からない、そういう方々の卵を一人一人その一つの枠の中で育成していかなければいけない苦労というのはものすごくたくさんあると思います。それで阿木高校とも思います。本当にご苦労が多いかと思いますが、きめ細かい指導をお願いしていきたいと思います。

■教育長 ありがとうございます。

三尾委員。

■三尾委員 学校の中の校内研究に関わるころだと思えますが、やはり学校の様子を見ていますと、非常にどこの学校も若い先生が増えてきて、その若い先生方を指導する先生も若いというような年代層になってくると思えます。学習指導とかそういうことだけではなく、生徒指導であったり、子どもの心をつかむ力であったり、そういう先生としてのこの根本的な教育力みたいなところの指導は、校内研究の中では大変難しい時代がこれからやってくると思えます。ぜひどの学校でも、校長先生を中心に組織的に、学校運営の中で若い先生がいろいろな力を幅広く深く身に付けられるような校内体制の校内研究といえますか、そういう指導を教育研修所にお願ひできると良いと思いました。

■教育長 梶屋教育研修所長。

■教育研修所長 ありがとうございます。まさに今のお話の通りで、若い先生が若い先生を指導するというような状況があるので、校長会であったり、教務主任研であったり、そういったところの先生方を通じながら、学校体制で指導していただく体制づくりも出来るように、研究体制の指導ということも、また先ほど表を出させていただいた3つの学校、特に阿木中学校や坂下小学校は小さい学校でもございますので、そういったところの実践を通して市内の方に広げていけるよう努力していきたいと思えます。

■教育長 委員さんがご指摘いただいた通りで、学校の職員の平均年齢が下がり、一つの学校が持っている組織としての教育力とか、組織内で人を育てる力が下がっています。例えば、第一中学校のある学年の学年主任は30代半ば、35歳前です。10年前だと考えられないことです。一中、二中、坂本中あたりの学年主任の先生は40代後半から50歳ぐらい、これから教頭になっていこうという方が務めていました。今その年齢が10や15下がっているということです。各学校の管理的立場の者には、人を育てる学校としての自助努力をしっかりとやらしてもらわないといけないと思います。同時に、学校任せにもできなくなってきました。教育委員会、特に教員の資質能力を高めるという意味では、教育研修所が今後担っていく役割、責任は大きいと思っています。中津川市は、時間外に職員が集まり学び合う「夜学」という、他市にはない事業も長年続けています。こういったところをさらに磨きをかけていかないとなかなか人が育たないと思います。また、全県から初任者等も中津川にもたくさん来てもらうのですが、中津川での3年間で教員として育っていくベースがしっかりできたと思ってもらえるような導きが僕らにできれば、中津川だけではなくて岐阜県の教育にとっても大きな意味や意義があります。そのあたりはしっかり頑張っていかなければいけないと思っています。ありがとうございました。ほかいかがですか。

橋本委員。

■橋本委員 (7)と(8)について中津川市で大きな問題になっているとおっしゃったのを聞いて少し安心しました。私も子どもを育てていく中で、なかなか行きづらいとか、長期休むわけではないけど少しだるいとか、そういうことをすごく感じるので、お忙しいのもすごく分かるのですが、先生方もいろいろ研修を受けたり、育っていかないと問題に目を向けていただけたりすることはありがたいと思います。よろしくお願いします。

■教育長 ありがとうございました。

幼児教育課に進んでよろしいですか。15ページから始まる幼児教育課について、ご意見ご質問を頂戴したいと思います。

田島委員。

■田島委員 法人の保育所、幼稚園と公立の保育所、幼稚園の職員の方の理解不足、お互いの交流不足というのを感じます。法人の保育園とは20数年お付き合いがあって、毎週1回ずつ2件行っており、公立へは教育長訪問で何件も同行させていただいて現状を見せていただいたりしています。いろいろと保育士の方のお話を公立、私立両方とも聞く機会があると、どうしても、すごく対立しているのではないかと感じます。公立もすごくいいところはあるし、もちろん法人もとてもし

いところがあるのですが、お互いがお互いを見るということが多分今できてないような気がします。それで、できればその良いところを取り入れたり改善したりする心意気を持って、交流とか、公立から私立へ派遣とか、そういうことをできたらいいと思うのですが、そういうことは無理でしょうか。

■教育長 河合幼児教育課長。

■幼児教育課長 ありがとうございます。実行するかどうかはまだ計画段階なのですが、この件については2つ計画があります。

1つ目は適正配置計画を作ったときに、中津川市の子どもを育てていくというのは同じことだということで、公立、市立、法人問わず主任クラスの保育士の方、幼稚園教諭の方を出していただいて、チームを作って地元の教師など経験の深い長い園長級の理事長の方とか園長の方とかを講師にしながら、年間5回ぐらいの研修会ができないかと考えています。年度末には総括をするといった計画を作っています。しかし、今回はコロナの関係で実行はできませんでしたので、コロナの関係が明けた段階でまた再計画をしたいと思っています。

2つ目は、いわゆる民間派遣研修になるのですが、1つ3年間を最長の期間として、もしかしたら一方通行になるかもしれませんが、公立の方から私立、法人に3年間行くというような計画を、ちょうど2年前の法人の保育士不足等のことも絡めまして、計画をしたことがあります。ただ、これについては職員組合等の認知も必要ですので慎重にやっていかないといけません。

大きく2つ計画を持って今進めていますので、環境が整い次第実行できると思っています。以上です。

■教育長 田島委員。

■田島委員 ありがたいことです。やはりそういうことを考えておられたということは、公立私立の問題点があるということをおっしゃられたということですね。それは、法人の立ち上げから非常に苦労されて今の状態に持っていった法人の方々、公立の方々、ものすごく思いが違うところがあるのですが、やはりさっきおっしゃったように、中津川の子どもたち、そして同じ小学校、中学校上がっていく子どもたちを育てているというところがすごく肝心なところで、よくぞ思いついてくださった、できるだけ実行になっていければいいと思いました。ありがとうございます。

■教育長 続いて、17ページの発達支援センターをお願いします。

よろしければ阿木高等学校においてもご意見頂戴したいと思います。

田島委員。

■田島委員 19ページ3(1)『キャリア教育の充実』「地域に貢献できる人材

を輩出していくため、体験的な実習や、地域作業……」のところで、「社会性、常識力、適応性及び協調性の向上」とうたっているのですが、これは生徒が社会に出てうまくやっていく力ということですよ。他の方々、職場や社会の方々とうまくやっていく力ということなのですが、ここには本人がいないような気がします。本人の感情とか思いやりとか他をいたわる心とか、そういう感情的なものがここには出てこないような気がして、少し心配をしております。

■教育長 阿木高等学校事務長。

■阿木高等学校事務長 やはり阿木高校へ来ている生徒の中で、そういった学力を上げようという授業に参加できてない、何らかの理由でなかなか学校へ行けないとか教室まで行けないという子がかなり増えてきております。そういった中で、やはり本来人のことを思えば分かる常識だとか、そういった部分にかなりウィークなポイントを持っている生徒が増えていまして、そんな子たちにまずそういった、「社会に出たらこういうことが必要ですよ」というところをキャリア教育としては強化していくということです。人間性とか思いやりという部分については普段から行っているんで、今の言葉を頂戴しましたのでまた全体の中でどこかに反映できるようにしていきたいと思っております。ありがとうございました。

■教育長 たくさんご意見頂戴しました。ありがとうございました。

文化スポーツ部に移ります。

池戸生涯学習スポーツ課長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 資料20ページに戻り、最初に生涯学習スポーツ課関連についてご意見やご質問をいただきたいと思っております。

小栗委員。

■小栗委員 今回の報告の中で、継続でやっていくという色々な開催事業がたくさんありますが、これもできてない、あれもできてないというものが多々あります。コロナ禍中だから致し方ないというところがありますが、その中でも、令和4年度を見ても、どんな形で推移していくか分かりませんが、できるものは当然色々対策もしながらやっていただきたいと思います。楽しみにしている人もたくさんいますので、やっていくことをやりながら、できないものに関しては、タイミングもあると思っております。そういったものは何か少し変えてでもできる方法を考えていただくといいと思っております。

特に、一番難しいと思われる国際交流事業は多分数年は難しいのではないかと思

っています。でも、中学生のタイ交流をこれで2年スキップしたわけですので、3年スキップすると中学生の子たちがもう誰も経験したことがないようになってしまいます。したがって、事業の中で何かを取り入れるとか、スクール構想もありますのでウェブを使って何かするなどして、国際交流することの大切さを子どもたちにも経験してもらい、形を変えてできることもほかの事業にとってもあると思うので、そんなことも検討しながら進めていただきたいと思います。

■教育長 池戸生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 先週、中学生タイ研修の役員会というものがあり、研修スタッフは過去のOBの方などの協力いただいているのですが、これで2年開いてしまいました。したがって、そういった方の経験を話す場だとか、今年度は研修に行かれた方の体験談をチラシとして中学校へ配ったということもあり、そういったことも引き続き考えております。

その他に、過去の写真展示として、学校を巡回展示みたいな形できないかということも意見交換をさせていただいており、令和4年度も研修はなかなか厳しいような状況ですが、何らかの形で、代替としてやりたいと考えております。

■教育長 田島委員。

■田島委員 21ページ6(3)「市民1スポーツ推進」で、何年かこの条項が上がっているような気がします。どんな状況になっているのだろうとすごく興味があります。なぜかと言いますと、昨日歯医者に行き、歯茎がたるんでいるということで、歯茎がたるんでいるのはどうすればいいかと尋ねると歩くことだと言われました。ウォーキング教室かと思いましたが、「市民1スポーツの推進」とあってもなかなか私のところに「こういうものに入らない？」と来てくれないので、なかなか自分から行くことができていません。したがって、どれぐらいの普及率なのか、それともどんな努力をしていращやるのか、教えていただきたいと思います。

■教育長 池戸生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 当課だけで当然できることではありませんので、体育協会の15支部でも様々な活動をしていただいております、そちらに活動交付金を交付させていただいて色々な取り組みをしていただいております、運動のきっかけづくりをしていただいております。その他にも各競技団体、少年団なんかも一緒にしっかり活動ができるような形で支援をさせていただいております。スポーツ推進計画を平成27年に作成しております、その時に、「1週間に1回以上スポーツをする機会」についてアンケート調査をしたところ、20歳以上2000人を対象に行い、31.2%でした。令和2年度に、令和8年度までの計画の中間の見直しということで、同じようにアンケートを取り、その時は44.7%という数字が上がってきました。よ

くウォーキングをする機会も見かけますし、平成27年当時から見るとスポーツをやってみえる方が増えていると思います。健康医療課も「8万人のヘルスアップ事業」ということで、血圧を下げるだとか、運動するきっかけづくりで健康推進員の方も一緒にウォーキングをすることをやっていただいておりますし、さまざまな機会です。少しずつ運動する機会というのが上がってきているのかなと思います。

■教育長 ほかはいかがですか。

では続いて図書館の方に移ります。22ページになります。

田島委員。

■田島委員 先ほどのご説明で、専門職の司書としての充実、資質向上ということ伺いましたので、それは大変嬉しく思っています。司書の方々が司書としての誇りをもって図書館業務に携われるように後押しをお願いしたいと思います。

一番気になることがあります。23ページの基本施策3の3(1)「新しい図書館運営に向け、新たなサポーター組織の設立」とあります。今まで色々なボランティアの団体が図書館を支えていらっしゃいました。確かに年齢の高い方々が頑張っているのと伺っております。ここに新たなサポーター組織を立ち上げるということは、ものすごいエネルギーがあることだと思います。これはもしかしたら今までの方々の動きを否定していかなければいけない可能性も出てくることだと思いますが、これを作り、皆さんに支えていただかないと図書館が回っていかず、みんなの図書館にはならないような気がします。このところの腹のくくり方というのを少し教えてください。

■教育長 小池図書館長。

■図書館長 新たなサポーターの方たちを養成していくというところは、本来でしたら今年度から徐々に行なっていきたいと考えていたところですが、しかし、コロナ禍でなかなかワークショップ的なことができず、少し六斎市に参加してブースを出そうとか、それぐらいのことしか今年度はできずにいました。しかし、来年度はいよいよですので、司書は司書の専門的なところに力が入られるように、例えば館内案内とか本の返却とか、そういったところをサポーターの方たちに担っていただけるようなところからまず始めていけないかと思っております。今までの図書館を10年支えてくださっていた方たちがいますので、その方たちを否定することはせずに、今までの蓄積を伝承していただき、違った形で関わっていただきたいと思っています。前面に出ていただくということはなかなか新しい方たちが入りにくいところもありますので、サポーターのサポーターというような形で、協力はしていただきたいと思っております。その辺は今、来年度どういう活動をしていくかというところは一緒になって考えておりますので、来年度に向けて、この1月か

ら3月は密に話をしていきたいと考えております。またご協力よろしく願いいたします。

■教育長 丹羽文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 今度の図書館は複合施設の中の図書館です。賑わいを見出すような情報も創造するような図書館を目指しております。今全国的に新しい図書館というのがかなりそういったところで、静かばかりじゃない、賑わいを見せるような、もっと若者の活気があるような図書館を目指したいと思います。サポーターの方には、先ほど職員の資質向上というのはあったのですが、専門性のところとまたサービスのところをしっかりと行い、ワークショップができるようになったら皆さんからご意見いただいた中で、新しい図書館、どんな図書館をイメージしていきたいかというようなことをもって、皆さんが期待のできるような図書館づくりをさせていただきたいと思っておりますので、今後また教育委員会の皆さんにご相談させていただきながら創っていききたいと思っております。

■教育長 田島委員。

■田島委員 ありがとうございます。すばらしいところができるということなのですが、本当に市民の方々も楽しみにして、自分の手がそこに差し伸べられるということも生きがいの一つになっていると思います。従来の方々と、新しい方々とをどうやって引っ張っていくか、ものすごく大変なことだと思いますが、しっかりと腹をくくっていい方に進めていただきたいと思います。お願いします。

■教育長 ありがとうございます。ほかはいいですか。

では、文化振興課の事業についてお願いします。

田島委員。

■田島委員 伝統芸能とは言わないのですが、和事で太鼓を教えています。太鼓の団体を組織しており、その中には子どもたちがたくさん入ってくれています。ここに文化協会、文化振興、こちらと、先ほどのスポーツの方を見ても、スポーツの指導者の方たちの力を借りてというところもしっかりと出てきます。私は自分のところに来ている子どもたちに、太鼓の技術は教えられますが、中津川市が目指している子どもの育て方みたいなものは分かりません。それは私だけではなく、色々なスポーツ、例えば野球の団体の長もバスケットもサッカーも、きっと中津川市教育委員会が目指している子どもたちをどう育てていくかということはおそらく分からないと思います。しかし、子どもは一緒ですよ。学校にいる子も地域にいる子も獅子舞やっている子も子どもは1人なのです。それが指導者によっても親によっても先生によっても一つのことを言ってもらおうと、子どもたちもこれが正しい道だという形で進んでいけると思います。指導者というのは、勝てばいいとかカッコよけれ

ばいいとか、あそこの団体よりはうちの方がカッコいいとか、そういうことに走ってしまうこともあります。技術は教えても教育方針みたいなもの、目指すものを教えることができないと思います。

したがって、教育委員会として子どもをこういうふうな道にこういうふうに育て欲しいっていうことを、各スポーツ団体の教えている人たち、文化団体の教えている人たちに統一してもらいたいというのをずっと思っているのですが、いかがでしょうか。

■教育長 丹羽文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 12月の議会に、関連すると思うのですが、休日の部活動の地域移行というものがあまして、その中で指導員が不足していることと、子どものそういった文化とかスポーツとかあらゆる関わり方の中で、子どもへの接し方、また、どうしたら教育ができるかという研修会をぜひやってほしいという意見がありました。これは県のスポーツ推進計画の中にも盛り込まれていまして、その答弁の中では、「学校と連携した中でそういった子どもへの指導について研修会を行なっていきたい」というようなお話をさせていただきました。まだ仕組みについては検討前ですが、これは必ずやらないといけないと思っています。このコロナ禍で色々な経験をした中で、やはり指導の中に、技術ばかりではなくて子どもの指導というところを、今まで先生が行ってきたことが、今度地域、指導者に関わってくるので、その辺が問題にならないような仕組みづくりをさせていただきたいと今考えております。

■教育長 氷室教育次長。

■氷室教育次長 丹羽部長が言われたように、例えば部活動に関しては、地域移行を含めた部活動指針というものを新たに作っています。学習指導要領の中には、部活動は連帯感を高め、自己有用感をとということで、勝利だけじゃなくてそういう力を学校でつけなさいということになっています。したがって、それも部活動指針に入れながら、また地域移行を目指しながら、学校で教育している内容を地域の方にも分かっていたきながら、地域でもそういった目標を作っていただくように連携を取っていきたいと思います。

■教育長 文化スポーツ部と教育委員会が同じフロアにいて、行き来しながら意思の統一を図って同じ方を向いて進めていけていると思っています。かつて教育は教育委員会ですということでしたが、今は総合教育会議が設けられているように、教育は市全体でやることだということです。そういった国全体の方向性もあって市の教育大綱も設けられています。教育大綱にうたわれていることがしっかり意識されて、教育委員会だけではなくて、市の行政全般で中津川市の人育てが進められていると

いう状況を、まずは教育委員会と文化スポーツ部がしっかり連携するところを核にしながら全体に広げていくという事がやはり必要だと思っています。共通理解を図るということはとても大事なのですが、共通理解はなかなか図れないなと思っています、人それぞれ心の中、受け止め方は違うわけなので、共通な行動がしっかりできるというところを目指していきたいと思っています。学校の教員が部活動で子どもを導く時にも、土曜日、日曜日のクラブ活動で社会人コーチが導く時にも、同じ行動ができている、同じ指示ができている、そういうことがしっかりできていくと思います。そのようなところを目指したいと思っています。貴重なご意見ありがとうございました。

ほかはいかがですか。

それでは最後です。鉱物博物館の事業について、ご意見やご質問等頂戴します。

それではご意見ご質問がありませんので、議第1号 令和4年度中津川市教育委員会主要事業については原案どおり承認ということでよろしいでしょうか。

[異議なし]

■教育長 ありがとうございます。議第1号「令和4年度中津川市教育委員会主要事業について」は、原案どおり承認とします。

本日追加議案がございます。

続きまして、本日、配付させていただきました追加議案に移ります。議第2号「中津川市教育委員会附属機関の委員の委嘱等について」提案説明をお願いします。池戸生涯学習スポーツ課長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、議第2号については、承認ということでよろしいでしょうか。

[異議なし]

■教育長 議第2号「中津川市教育委員会附属機関の委員の委嘱等について」は、原案どおり承認とします。

これもちまして、本日の議事はすべて終了しました。委員の皆さん、ありがとうございました。

それでは、事務局から次回の開催日程について報告してください。

伊藤事務局次長。

■事務局次長 次回の開催日は令和4年2月17日木曜日13時30分から、にぎわいプラザ4-1会議室にて定例会を開催いたします。よろしくお願いいたします。

■教育長 確認します。次回は令和4年2月17日木曜日13時30分から、にぎわいプラザ4-1会議室にて定例会を開催いたします。

以上で令和4年第1回中津川市教育委員会を終了といたします。お疲れさまでした。

[閉 会 (午後3時33分)]